

思い感じたことを  
徒然なるままに

# くんぱるたより

H28 8/31 NO.66



## ☆ 正解はなく、結果が出る その2

夏休みが終わります。子どもはもう学校！という気持ちでしょう。くんぱるの勝川は2回目の夏休み、春日井西は初めての夏休み。いろいろ企画といろいろな体験をさせることができたと思う以上に、それぞれの事業所での反省面、改善点を多く感じた夏休みになったと感じております。子どもたちもこの時期にグッと成長します。現学年らしい雰囲気や行動、言動が増えてくることでしょう。皆様にはいつもご面倒おかけいたしております。



さて、人も物もそうですが、あらゆる側面を持ち、それらを総合して判断したいと考えております。良い面もあれば悪い面もあり、どのように自分の中で折り合いをつけるのか、自分の意見を通すべきなのかを常々考えております。これは、いわゆる「思いやり」「気づかい」といったことなのだろうと思いますが、最近の傾向としてこの思いやりに欠け、自分勝手な行動、言動が多い人が多いと聞きます。いわゆる「空気読めない」とか「間が悪い」といった類なのでしょう。日本の文化は実に多様であり、諸外国からの文化を独自に昇華し発展してきました。今の「和」というイメージは江戸の文化が色濃くあるようです。この江戸の日本人は外国人から見ても礼節があり、高貴な民族だと言われておりました。思いやり、助け合いの心なのでしょう。江戸において物を大切にするというのは当たり前で、現代よりもリサイクルが当たり前であり、人も物も大事にする心が当時の日本人にはありました。時代が進むにつれその心が変遷したのか失われつつあるのかわかりませんが、自分勝手な人、物を大切にしない人が増えてきているように思えます。



最近のニュースでも芸能人の逮捕や少年らの殺人事件があり、親の教育について取りざたされております。世代を感じますが、mr. childrenの「タガタメ」という歌のフレーズに「子どもらを被害者に加害者にもせず、この街で暮らすためまず何をすべきだろう」という一文があります。親子の関係が不変なるものと仮定した場合、上記の事件、一文に言えることは「しつけ」が問題として浮かび上がるのではと思います。

「躰とは人間社会、集団の規範、規律礼儀作法などの慣習に合った立ち振る舞いができるように訓練すること概念的には誉め方、罰し方も含む」と書いてありました。簡単に言えば善悪の判断を教え、時、場所、場合に合った行動、言動ができる人間にすることが必要。くんぱるでも他所でも聞いた話ですが、その店のものやみんなのものなのに、雑に扱う、壊す、片付けない子が目立つそうです。そういう子は大抵挨拶もできない子。させない親の様です。うちの子はかわいいから何て思って、挨拶しない、片付けしない子でもいいんだ！なんてそんなこと思ってませんよと言っても子どもの行動で、言動で躰具合は残念ながら見えてしまいます。

ただ、躰でも教育全般もそうですが、正解はありません。各家庭のやり方が正解であるとは思いますが、結果は出るので。先の芸能人の件にしても、教育はしっかりしてきたと思いますが、結果としてこうなったということがしつけの結果なのです。勉強ばかりさせてもそうなのでしょう…。

私に世の中を変える力はありませんが、せめてくんぱるを利用してくれる子たちが被害者でも加害者にもならない、幸せをつかんでくれるように、怖いおじさんやりながら、しつけをしてまいりたいと今回のニュースを見て思いました。

## ☆ お知らせ ☆

- ・通常利用の皆様は月分利用料は9/26(月)に口座より引き落としされますのでよろしくお願い致します。
- ・利用予定の変更は当日午前中までにご連絡（電話、メール、LINE）くださるようお願い申し上げます。
- ・台風の季節です。暴風警報が出た場合のくんぱるの対応について各事業所にご確認してください。（基本、暴風警報が出ても開所いたします）状況に応じた対応方法をご確認下さい。